

令和6年度 事業報告

1 会議関係

(1) 理事会

会 議 名	開催場所	議 題
第32回 理事会 (令和6年6月4日)	日中友好会館	1 令和5年度事業報告(案)及び令和5年度収支決算(案)について (議決承認) 2 定時評議員会に提出する理事候補者(案)、監事候補者(案)及び評議員候補者(案)について (議決承認) 3 定時評議員会の招集(案)について (議決承認)
第33回 理事会 (令和6年6月19日)	ベルサール九段	1 理事長(代理理事)・常務理事(業務執行理事)の選定について (議決承認)
第34回 理事会 (令和7年3月19日)	ベルサール飯田橋ファースト	1 令和6年度事業計画(補正)(案)及び令和6年度収支予算(補正)(案)について (議決承認) 2 令和7年度事業計画(案)及び令和7年度収支予算(案)について (議決承認)

(2) 評議員会

会 議 名	開催場所	議 題
第13回 評議員会 (令和6年6月19日)	ベルサール九段	1 令和5年度事業報告(案)及び令和5年度収支決算(案)について (議決承認) 2 理事の選任(案)及び監事の選任(案)について (議決承認) 3 評議員の選任(案)について (議決承認)

(3) 監事会

会 議 名	開催場所	議 題
監 事 会 (令和6年5月27日)	水道技術研究センター	1 令和5年度事業報告(案)の監査、令和5年度収支決算(案)の監査

(4) 常設委員会

会 議 名	開催場所	議 題
第23回 企画委員会 (令和7年3月11日)	水道技術研究センター	1 令和6年度事業計画(補正)(案)及び令和6年度収支予算(補正)(案)について 2 令和7年度事業計画(案)及び令和7年度収支予算(案)について
第25回 管路技術委員会 (令和6年10月28日)	水道技術研究センター	1 令和6年度研究事業等の実施状況
第26回 管路技術委員会 (令和7年2月14日)	水道技術研究センター	1 令和6年度研究事業等の実施状況 2 令和7年度研究事業計画(案)

第 25 回 浄水技術委員会 (令和 6 年 9 月 25 日)	水道技術研究 センター	1 令和 6 年度研究事業等の実施状況
第 26 回 浄水技術委員会 (令和 7 年 2 月 20 日)	水道技術研究 センター	1 令和 6 年度研究事業等の実施状況 2 令和 7 年度研究事業計画 (案)

2 公益目的事業

公 1 「水道技術調査研究・開発事業」

(1) 研究開発事業関係

(上下水道科学研究費による事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道情報の活用等による技術水準の確保及び技術継承のための研究	令和 5 年度 ～令和 7 年度	技術水準の確保及び技術継承を支える ICT 及び AI 等の活用、データベースの整備及びその活用方法を提案

※令和 6 年度より「上下水道科学研究費」(国土交通省)に移行

(共同研究事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道の基盤強化に資する浄水システムの更新・再構築に関する研究 (A-MODELS プロジェクト)	令和 3 年 10 月 ～令和 6 年 9 月 (研究) 令和 6 年 10 月 ～令和 8 年 3 月 (成果報告)	水道事業を取り巻く状況は大きく変化しており、水道事業の基盤強化が求められていることから、設備の更新、施設の再構築を適切に行い水道システムとしてのレベルアップを図ることを目的として実施
② 強靱で高度な水道管路システムの構築に関する研究 (STAMPS プロジェクト)	令和 5 年度 ～令和 7 年度 (研究) 令和 8 年度 (成果報告)	将来にわたって水道サービスを維持・向上させることを目的に、水道管路システムの強靱化とデジタル技術の活用などによる管路の維持管理業務や、管理手法の高度化に向け研究を実施
③ 浄水分野における新たな維持管理技術及び運営手法に関する研究 (A-NEWWORK プロジェクト)	令和 6 年 10 月 ～令和 9 年 3 月 (研究) 令和 9 年度 (成果報告)	DX 技術の活用による水道事業(特に浄水処理)の効率化を目的に最新情報の収集を行うとともに、その活用方法の提案を検討。また、近年、導入が進んできている官民連携における諸課題を整理するとともに方策案を提案することによる事業推進を図ることを目的として実施

(受託・請負事業)

区 分	期 間	摘 要
① 第2期 紫外線水処理技術適用拡大プロジェクト (第2期 UV-ACE プロジェクト)	令和4年度 ～令和5年度 (研究) 令和6年度 (成果報告)	第1期活動内容を踏まえ、水道事業体のUV導入支援、浄水処理におけるUVの適用範囲拡大、水道事業以外への適用範囲拡大など、紫外線処理技術の適用拡大に向けた検討及び普及を目的として実施
② 水道のスマート化に関する研究 (New-Smart プロジェクト)	令和5年度 ～令和7年度	水道のスマート化の一環として、スマート水道メーターの普及・促進に繋がるような取り組みを加速させるため、 A-Smart プロジェクトに引き続き課題や対応策等を検討
③ 水道情報活用システム標準仕様 審査業務	令和2年度～	水道事業におけるCPS/IoTの技術を活用した水道情報活用システムのルールを定めた「システム標準仕様」の改定に係る審査委員会を運営
④ 都市の消防水利に関する分野横断的研究会における資料データ収集整理業務 ならびに研究会運営事務業務	令和2年度 ～令和6年度	人口減少社会に向けた実践的な消防水利の考え方について水道分野と消防分野における産官学が分野横断的に議論・検討する場である研究会の運営事務業務を実施
⑤ 第2期水道施設の新たな点検手法等に関する研究 (Aqua-BridgeII プロジェクト)	令和6年度 ～令和8年度	ICT等新技術を活用した水道施設の点検方法等について、その手法の実用性、課題点の検証を行うとともに、必要に応じて可能な範囲で水道施設での実験を実施
⑥ 浄水処理におけるPFASの除去等に関する研究 (Aqua-PFAS プロジェクト)	令和6年度 ～令和8年度	PFAS処理が必要な浄水場において、適正なPFAS処理技術が選定できるよう、各種処理技術の特徴及び留意事項などを調査し、「(仮称)PFAS処理技術の導入・維持管理の手引き」を作成

(特別研究事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道技術研究成果活用事業 (管路分野)	平成 26 年度～	これまでに実施した研究成果を水道事業関係者への普及を目的とし、事業体が抱える課題の共有、維持管理技能向上に向けた管路技術ワークショップを開催 (5/31 岡山市で開催)
② 水道技術研究成果活用事業 (浄水分野)	平成 26 年度～	これまでに実施した研究成果を水道事業関係者への普及を目的とし、講習会、浄水処理ワークショップ等をはじめ、手引きや事例集の作成等を実施 (11/7 岡山市で開催)

(自主研究事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道の国際比較に関する研究	平成 27 年度～	先進諸外国の水道事業に関する調査、有用な情報の収集及び発信等を実施
② 海外 ICT 等活用調査	平成 27 年度～	国内の水道事業体や企業向けに発信するにふさわしいテーマ (内容) について、情報収集
③ 矩形地上水槽 (鋼製) の耐震設計に関する研究 (Aqua-TANK プロジェクト)	令和 5 年度 ～令和 6 年度	矩形地上水槽 (鋼製) の動的解析手法の解明及び既設の耐震補強の提示を目的として実施

(水道データベース事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道情報データベース等の構築	平成 23 年度～	事故情報を含む管路情報 (布設状況等) の収集及び収集データの分析
② PI の効果的活用調査	平成 18 年度～	全国の水道事業体の事業等に関するデータを用いて分析

(2) 出版事業関係

技術資料・報告書・マニュアル等書籍の作成・出版・販売を実施

(3) 研修・普及推進事業関係

① 水道技術セミナーの開催（年1回）

- ・期日及び開催地：令和6年12月5～6日 名古屋市
- ・参加人数：113名

② 膜ろ過浄水施設研修会の開催（年1回）

- ・期日及び開催地：令和6年10月22～23日 新潟市・見附市
- ・参加人数：48名

③ 紫外線処理設備研修会の開催（年1回）

- ・期日及び開催地：令和6年11月12～13日 宇都宮市
- ・参加人数：33名

④ 九州・中四国ブロック研究会の開催（年1回）

- ・期日及び開催地：令和6年8月1～2日 米子市
- ・参加人数：75名

⑤ JWRC 水道講座の開催（年2回）

- ・期日及び開催地：第21回 令和6年9月19日、第22回 令和6年12月19日（共にWeb開催）
- ・参加人数：第21回 176名 第22回 108名

⑥ 浄水技術継承支援システム（*A-Batons+*）の普及活動

令和8年4月より「水道技術継承支援システム（*A-Batons+*）」へ名称変更予定

(4) 水道事業者等への支援活動関係

- ① 水道事業者等委員会へのセンター役職員の参加
- ② 水道事業者等主催の技術研修会等への講師派遣
- ③ 水道事業者等への技術支援（JWRC 水道技術等相談室等）

公2 「国際交流事業」

(1) 水道技術国際シンポジウム関係

- ① 国内の水道事業体や企業向けに発信するにふさわしいテーマ（内容）について情報収集

(2) Watershare 活動（オランダ水循環研究所主催）

- ① Watershare から発信される情報の収集・整理。国内水道分野に有益な情報があった場合、海外水関係団体との情報交換等を実施

(3) 国際会議等への参加

- ① The 13th IWA World Water Congress & Exhibition 令和6年8月11日～15日 カナダ
(ポスター発表1件)

(4) 技術研修員受入

- ① 開発途上国の経済・社会開発に必要な人材養成の一環として、研修実施機関へ講師を派遣し、研修を通じた人材育成を実施（令和6年度実績なし）

公3 「技術支援事業」

(1) 浄水技術支援事業の実施（令和6年度分）

浄水分野に係る装置、施設の導入支援 及び 装置認定、技術評価

	審査中	認定
膜ろ過装置	3件	0件
紫外線装置	1件	2件
膜モジュール	1件	0件

(2) 公募型実証研究支援事業の実施（A-IDEA）（令和6年度分）

実証フィールドを活用した技術成果に対し指導・助言を実施

受付（契約）	終了
0件	0件

(3) 水道における新技術事例集の作成（Aqua-LIST）（令和6年度分）

審査	掲載
7件	6件

(掲載累計 38件)

3 その他の事業

(1) 水道技術ジャーナル(会報)の発行 (四半期刊・No. 111～114)

(2) 文献抄録の作成

海外の文献を対象に抄録を行い、水道技術ジャーナルに掲載

(3) ホームページ等整備事業関係

ホームページの運用、維持管理等

(4) 水道ホットニュースの配信

889号(令和6年4月5日)から 937号(令和7年3月28日)

(5) 第66回「水道週間」への協力(令和6年6月1日～7日)

(6) 会員名簿(令和6年7月1日現在)の作成

(7) 令和6年度(公社)日本水道協会 全国会議(水道研究発表会)で論文を発表

(令和6年10月9日～11日 神戸市)

(8) 水道施設管理技士資格制度協議会の開催

(令和6年11月12日臨時会議、令和7年3月17日会議)

4 会員関係

会員種別別、入退会状況

種 別	令和5年度末	入会	退会	令和6年度末	備 考
会 員 A	171	3	9	165	事業体
会 員 B	127	3	1	129	企業
会 員 C	16	0	0	16	団体
会 員 D	25	0	2	23	個人
合 計	339	6	12	333	

5 事務局組織

役員2名、事務局長1名、参与2名、主幹1名、総務部3名、調査事業部7名、管路技術部6名、浄水技術部7名、合計29名 (常勤: 令和6年度末現在)

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。